

殿

骨材試験報告書

令和 年 月 日

工 事 名

工事場所

製 品 名

福井市志比口3丁目2番14号 はさきビル2階

久米田砕石株式会社





株式会社 M・T技研
Maintenance Technology

〔 6号碎石 (S-13) 〕

発行責任者 所 長 小 林 宏 成





骨材試験結果一覧表

依頼者	会社名	久米田碎石株式会社
	所在地	福井県福井市志比口3丁目2番14号
申依頼 請事者 事項	試料採取日	令和3年2月25日
	試料採取場所	骨材堆積場
	試料採取者	今村 嘉孝
試料搬入日		令和3年2月25日
試験日		令和3年2月26日 ～ 令和3年3月31日

試験体種類		産地
粗骨材	6号碎石(S-13)	福井県坂井市丸岡町上久米田37字

試験項目			試験結果
ふるい分け試験	JIS A 1102	粗粒率	6.38
微粒分量試験	JIS A 1103	微粒分損失質量 %	0.5
単位容積質量試験	JIS A 1104	単位容積質量 kg/l	1.56
		実積率 %	58.9
有機不純物試験	JIS A 1105	標準色に比較して	—
密度及び吸水率試験	JIS A 1109 JIS A 1110	表乾密度 g/cm ³	2.69
		絶乾密度 g/cm ³	2.65
		吸水率 %	1.53
すりへり試験	JIS A 1121	すりへり減量 %	12.6
安定性試験	JIS A 1122	安定性損失質量 %	2.7
粘土塊量試験	JIS A 1137	粘土塊量 %	0.06
骨材中の塩化物量試験	JIS A 1144	塩化物含有率 %	—
粒形判定実積率試験	JIS A 5005	粒形判定実積率 %	—
技術管理者		楳田 直也	
試験担当者		楳田 直也	



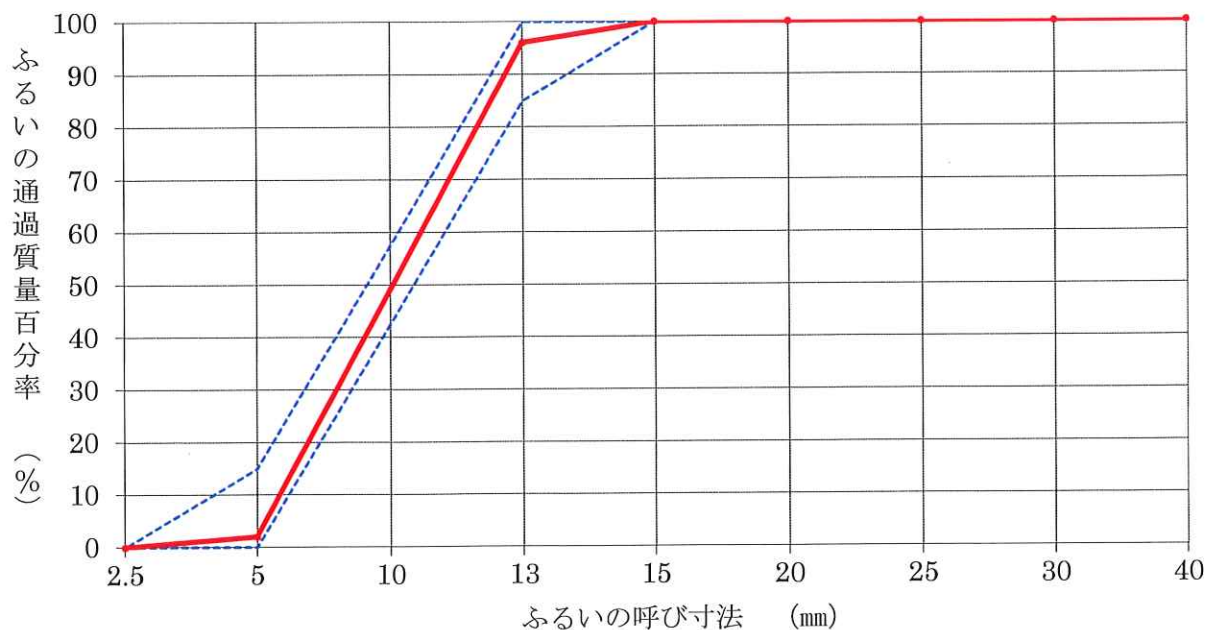
試験規格 JIS A 1102

骨材のふるい分け試験（粗骨材）

試験担当者： 榎田 直也

試験日	令和 3 年 3 月 4 日			
試験料	種類	6号碎石(S-13)	最大寸法	13 mm
	産地	福井県坂井市丸岡町上久米田37字		
	採取日	令和 3 年 2 月 25 日		
	採取場所	骨材堆積場		
ふるい分け方法	手動	ふるい分け前の質量	3425	
ふるいの呼び寸法 (mm)	連続する各ふるいの間ににとどまる試料の質量 (g)	連続する各ふるいの間ににとどまる試料の質量分率 (%)	各ふるいにとどまる質量分率 (%)	各ふるいを通過する質量分率 (%)
40	0	0	0	100
30	0	0	0	100
(25)	0	0	0	100
20	0	0	0	100
(15)	0	0	0	100
(13)	120	4	4	96
10	1233	36	40	60
5	1974	58	98	2
2.5	82	2	100	0
受け皿	15	0	100	0
合計	3424	100	—	—
試験前後の質量差 (%)	0.03	粗粒率	6.38	

粒度曲線図





試験規格 : JIS A 1103

骨材の微粒分量試験 (粗骨材)

試験担当者 : 榎田 直也

粗 骨 材			
試 験 日		令和 3 年 3 月 3 日	
試 料	種 類	6号砕石(S-13)	
	産 地	福井県坂井市丸岡町上久米田37字	
	採 取 日	令和 3 年 2 月 25 日	
	採 取 場 所	骨材堆積場	
試 験 回 数		1	2
洗う前の試料の乾燥質量 (g)	m_1	1698.5	1720.3
洗った後の試料の乾燥質量 (g)	m_2	1692.2	1712.4
骨材の 微粒分量 $= \frac{m_1 - m_2}{m_1} \times 100$ (%)	A	0.4	0.5
2回の試験の平均値 (%)	$\bar{A}$	0.5	
平均値からの差 (規格値:0.2%以下)		0.1	



試験規格 JIS A 1104

骨材の単位容積質量及び実積率試験

試験担当者： 榎田 直也

試 験 日			令和 3 年 3 月 31 日	
試 料	種 類		6号碎石(S-13)	
	産 地		福井県坂井市丸岡町上久米田37字	
	採 取 日		令和 3 年 2 月 25 日	
	採 取 場 所		骨材堆積場	
試 験 回 数			1	2
単位容積質量	容器の質量	(kg) (1)	6.700	6.700
	容器の容積	(l) V	9.953	9.953
	(容器＋試料)の質量	(kg) (2)	22.224	22.197
	試料の質量＝(2)－(1)	(kg) m ₁	15.524	15.497
	単位容積質量＝ $\frac{m_1}{V}$	(kg/l) T	1.56	1.56
	2回の試験の平均値	(kg/l) $\overline{T}$	1.56	
	平均値からの差 (規格値:0.01kg/l以下)		0.00	
実積率	試料の絶乾密度	(g/cm ³) d _D	2.65	
	実積率＝ $\frac{\overline{T}}{d_D} \times 100$	(%) G	58.9	



試験規格 JIS A 1110

粗骨材の密度及び吸水率試験

試験担当者： 榎田 直也

試 験 日			令和 3 年 3 月 12 日	
試 料	種 類		6号砕石(S-13)	
	産 地		福井県坂井市丸岡町上久米田37字	
	採 取 日		令和 3 年 2 月 25 日	
	採 取 場 所		骨材堆積場	
試 験 回 数			1	2
表 乾 密 度	表乾状態の試料の質量 (g)	m ₁	1718.5	1714.8
	試料とかごの水中の見掛けの質量 (g)	m ₂	1479.4	1476.2
	金網かごの水中質量 (g)	m ₃	398.3	398.3
	試験温度における水の密度 (g/cm ³)	ρ _w	試験水の温度	20 ℃
			0.9982	
	表乾密度 = $\frac{m_1 \times \rho_w}{m_1 - (m_2 - m_3)}$ (g/cm ³)	D _s	2.69	2.69
	2回の試験の平均値 (g/cm ³)	$\overline{D}_s$	2.69	
平均値からの差 (規格値:0.01g/cm ³ 以下)			0.00	
絶 乾 密 度	絶乾状態の試料の質量 (g)	m ₄	1692.5	1689.1
	絶乾密度 = $\frac{m_4 \times \rho_w}{m_1 - (m_2 - m_3)}$ (g/cm ³)	D _d	2.65	2.65
	2回の試験の平均値 (g/cm ³)	$\overline{D}_d$	2.65	
	平均値からの差 (規格値:0.01g/cm ³ 以下)			0.00
吸 水 率	吸水率 = $\frac{m_1 - m_4}{m_4} \times 100$ (%)	Q	1.54	1.52
	2回の試験の平均値 (%)	$\overline{Q}$	1.53	
	平均値からの差 (規格値:0.03%以下)			0.01

水の温度と密度					
温度 (°C)	密度 (g/cm ³)	温度 (°C)	密度 (g/cm ³)	温度 (°C)	密度 (g/cm ³)
15	0.9991	19	0.9984	23	0.9975
16	0.9989	20	0.9982	24	0.9973
17	0.9988	21	0.9980	25	0.9970
18	0.9986	22	0.9978	—	—



試験規格 JIS A 1121

ロサンゼルス試験機による粗骨材のすりへり試験

試験担当者： 榎田 直也

試 験 日				令和 3 年 3 月 10 日			
試 料		種 類		6号砕石(S-13)			
		産 地		福井県坂井市丸岡町上久米田37字			
		採 取 日		令和 3 年 2 月 25 日			
		採 取 場 所		骨材堆積場			
ふるいの呼び寸法		ふるい分け試験		粒度区分	球の数	回転数	試験前の 各群の質量 (g)
通る ふるい	とどまる ふるい	各群にとどまるもの					
		質量	質量百分率				
(mm)	(mm)	(g)	(%)	A～G	6～12	500または1000	m ₁
2.5	—	15	0				
5	2.5	82	2				
10	5	1974	58				2500
15	10	1353	40				2500
20	15	0	0				
25	20	—	—				
40	25	—	—				
50	40	—	—				
60	50	—	—				
80	60	—	—				
合 計		3424	100	C	8	500	5000
試験後1.7mmふるいに残った試料の質量			(g)	m ₂	4372		
すりへり損失質量			m ₁ －m ₂	(g)	628		
すりへり減量			$\frac{m_1-m_2}{m_1} \times 100$		(%)	12.6	

試験規格 JIS A 1122

硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験（粗骨材）

試験担当者： 榎田 直也

粗 骨 材							
試 験 日				令和 3 年 3 月 26 日			
試 料		種 類		6号砕石(S-13)			
		産 地		福井県坂井市丸岡町上久米田37字			
		採 取 日		令和 3 年 2 月 25 日			
		採 取 場 所		骨材堆積場			
ふるいの呼び寸法		ふるい分け試験		試験前の 各群の質量	試験後の 各群の質量	各群の損失 質量分率 $(1 - \frac{m_2}{m_1}) \times 100$	骨材の損失 質量分率
通る ふるい	とどまる ふるい	各群にとどまるもの		(g)	(g)	(%)	$\frac{\text{①} \times P_1}{100}$
(mm)	(mm)	質量	①質量分率	m_1	m_2	P_1	(%)
10	5	1974	59	305	296	3.0	1.8
15	10	1353	41	502	491	2.2	0.9
20	15	0	0	—	—	—	—
25	20	—	—	—	—	—	—
40	25	—	—	—	—	—	—
60	40	—	—	—	—	—	—
合 計		3327	100	—	—	—	2.7

注) ①の質量分率が全質量の5%に満たない群のものについては試験をしないが、その群の前後における損失質量分率の平均値をもって その群の値とする。前後の群における試験値のいずれかが欠けているときは、欠けていないほうの群の損失質量百分率をとる。



試験規格 JIS A 1137

骨材中に含まれる粘土塊量の試験

試験担当者： 榎田 直也

粗 骨 材			
試 験 日		令和 3 年 3 月 24 日	
試 料	種 類	6号碎石(S-13)	
	産 地	福井県坂井市丸岡町上久米田37字	
	採 取 日	令和 3 年 2 月 25 日	
	採 取 場 所	骨材堆積場	
試験前の試料の乾燥質量 (g)		m _{D1}	1708
試験後の試料の乾燥質量 (g)		m _{D2}	1707
粘土塊量 = $\frac{m_{D1} - m_{D2}}{m_{D1}} \times 100$ (%)		C	0.06

注) 試験の回数は1試料につき1回とする。ただし、最初の試験で粘土塊量が1.0%を超える場合は再度試験を行う。

